

「田舎の進学校」における夏休み を前に(3年連続の大切な)一言

3年連続全く同じタイトルで、「私の選択には意志がある」葵高生に再々確認してもらいたい。

—葵高校の夏休みは短い(無い)。本来なら、8月いっぱい、十分に休んで9月から新学期といきたいところだ。欧米では6月に学年終了、9月に新学年がスタートするまで2ヶ月以上の長い休みが当たり前。なのに、なんだあ！このクソ暑い時期に、補習だの強化学習会だのほとんど休みがな～い！

欧米と比較したところで、学年周期が違う以上どうしようもない。じゃあ、国内的にはどうなのか・・・2年生、3年生の諸君はすでに例年言われていることだからわかっていると思うが、何のことはない、田舎の高校は予備校の代わりをしなければならないのである。

会津盆地を取り囲む山の向こうには、各学年数十万人のライバルがいる。進学校と呼ばれる高校の多くは人口集中地域にあり、当然、そこには数々の塾や予備校がある。受験を控えた高校生は、長期休業中(平日もそうだが)志望実現のためにそれを利用する。

田舎は違う。葵高生や他校の進学希望生徒をまるまる引き受けられるところはない。だから、学校がやる。全国に目を向けると、西日本には「補習科」と称して高校4年生(=浪人生)が通う公立校もあったりする。みんな、都市部に負けまいと頑張っているのだ。

さあ、葵高生諸君、こういった環境を理解した上で、夏休みを過ごそうじゃないか！それぞれが、進路実現のために必要なことを発見、自覚し、少しでもそれを実践するべく努力するのだ。はっきりしたものでなくてもいい。「主体的に」動く姿勢が大事なのだから—

～キャンパス見学のススメ～

～志望決定の決め手かも!!～



夏休み。結構な日数が現実的な学力アップのための補習に当てられているので、自由に動くにはちょっときついかもしれませんが、各学年共に、特に部活動等であまり縛りのない状況があるなら、ぜひキャンパス見学をオススメします。近場の新潟大学や福島大学、山形大学については、学校で見学会を企画し、大勢の1・2年生が参加することにはなっていますけどね。

本音を言えば、進学先を選ぶために、葵高校生全員にキャンパス見学に行って欲しいところ。人から聞く情報より、自分の目で確かめた情報こそ、最も信頼できるからです。キャンパスを見て、講義を受けて、「ああ、ここで大学生活を満喫したいな～!」という願いこそ、志望大学決定の第一条件にするべきなのです。ちなみに、中央階段付近には数々のオープンキャンパスの案内が掲示してありますが、「オープンキャンパス」と銘打った日でなくとも、何でもなくごく普通の日に訪ねてみるのが、そのキャンパスの雰囲気を知るのには一番だと思います。かく言う私も、高校時代そうして第一志望を決めました。

『私の選択には意志がある』的 進路選択

このスローガンのもと、「適切な進路志望の設定」と「進路志望の実現」を目標に、葵高校は頑張っている。そして、そのために各学年で実践して欲しい内容も明示している。一生懸命、大学や学部、資格を調べ、学力アップに努めている人もいる。

ところが、その第一段階である「自分を知る」ことがおろそかになり、「個性・適性」をつかめないままに進路目標を設定してしまう人がかなり多くいることもまた事実だ。実際、それでもその志望実現の過程で「自分を知る」ことができればそれでいいのだが、その機会を見いだせないまま、あるいは見いだそうとしないまま時間だけが流れていく人生もある。

まずは「自分」を知って、「個性」を生かそう！

昨今、前述のように「自分を知る」手順を省き、社会とのつながりを拒否する人間が増えているようにも思われる。せっかく学力があっても自分と周囲の関係が築けずに、それがNEETや引きこもりの原因になっているとも考えられるのだ。

進路実現の理想は「個性を生かして職業とし、それが社会貢献につながること」であり、これを実践している人がどれほどいるかは、その社会の成熟度の目安となる。そのための第一段階が「自分(個性・適性)を知る」ことなのである。

「難しい」と感じる人も多いと思うが、「難しい」を言い訳にして逃げてはダメ。

- ・わたしはいろいろな人とコミュニケーションをとることが好き
- ・オレはモノを作るのが得意
- ・統計や資料を作るのが好き
- ・一つのことじくりに時間をかけて取り組むと落ち着く
- ・他の人と違った発想をすることが多い
- ・芸術やスポーツで自分を表現しているときが幸せ
- ・得意なことはないが好きなことはある
- ・幸せな家庭の主婦になるのが夢

いろいろなじぶんがあるよね



複数思い当たる人もいるだろうし、一つしかない人も。いずれにせよ、自分に対する単純な評価さえできれば、あとは「これをどう生かしたら社会の役に立つか」考え、道順を調べる。そうして自分でマニュアルを作ってみる。

「難しい・面倒」と、自分を知るために「考えること」や「体験すること」から逃げていたのでは未来を切り開くことはできない。ましてや自分の不遇をすべて周囲のせいにして不満ばかりを漏らすような大人になっては最悪だ。限られた時間でも、アクティブに、主体的に毎日を過ごそう。今年も葵祭もあるし、「自分を知る」にはとってもいいチャンスだ！



さあ、さまざまな活動を通じて経験と自信を積み重ねよう！

そして「意志ある選択」を実行しようじゃないか！